

# 障害者雇用ゼロ解消へ

## 福祉事業所、企業が見学

宇都宮市

【宇都宮】市は21日まで、市内の企業を対象にした福祉事業所の見学会を開催した。4月から障害者の法定雇用率が2%から2.2%に引き上げられるために、障害者の就労に向けた訓練の現場を知ってもらおうと、さらなる理解促進と雇用につなげたいと考えた。



障害者が作業する様子を見学する企業担当者ら

企業の見学率の引き上げに加え、対象事業所が従業員50人以上から45・5人以上に拡大される。県内民間企業の雇用率は昨年時点で1・98%で改善傾向にあるが、「障害者雇用ゼロ企業」の解消などが課題となっている。



町総合



榎崎智

見学会の開催は3年目で、市障がい福祉課担当者は「障害者が得意なこと、苦手なことなどを理解してもらい、雇用する上で必要な配慮も知ってもらえれば」としている。

見学会には2日間で計9社が参加。見学会2日目の5日は、4社6人が一般就労に向け実践的な訓練を行う就労移行支援事業所「とつと」(上野祭町)などを回った。事業所ではコンセプトのプラグ作りやタイプ

による研究成果の発表会がこのほど、市民情報センターで開かれた。昨年から外部

ング、帳簿付けなど幅広い訓練に加え、社会で適応できるためのマナーや金銭管理、対人関係のトレーニングを行うカリキュラムが紹介された。

参加した医薬品製造の企業担当者は「これまで雇用のノウハウがないため、障害者との関わり合いができるのか勉強しに来た。とても丁寧に作業していたのが印象的だった」と話していた。

(五月女裕美)

90人に加え市内の介護施設から8人が出席。研究成果を共有した。

研究発表会は2011年から同病院が毎年開催、地域医療の連携推進などを目的に昨年からは外部の参加を受け入れ始めた。同病院脊椎外科センター整形外科医の反町毅さんによる記念講演から始まり、「ロコモティブシンドローム」を解説、予防法などが紹介された。

その後、介護、看護分野でそれぞれ4組が研究発表。介護分野で発表された「訪問リハビリテーションについて」では、約2年前

【宇都宮】「ユリーインター」の認証状伝達  
宇都宮商業高で内外のロータリ(RC)の会員らが見守る中、生

交通安全

「バイク神

県内外のライ

【真岡】「バ

として親しまれ

神社敷地の「足

で18日、ツリー

ンに向け交通安

る催し「第6回

集」が開かれた

# ハクビシン対策 一般家庭に拡大

## わな無料貸し出しへ 宇都宮市

【宇都宮】市は2018年度、野生動物のハクビシンを捕獲する対策を拡充する方針を決めた。市民から農作物や生活環境の被害報告が増えていることを踏まえた。市は捕獲用わなの無料貸し出しを行っているが、貸し出し対象はこれまで農作物被害を

受けた人のみだった。シンの被害報告は農村に見込み。18年度は一般市民にも部に限らず市内全域に広げる。専門業者に設置及び、増加傾向にある。協議会では、ハクビシンが屋根裏に

き、異音

などの生

面での捕

があつたとい

る。当初予算案に関係

どでイチゴやブドウな

わなの貸し出

料。設置に免

経費64万円を計上し

ど780万円に上

た。被害拡大により17

ないが、市の

市によると、ハクビ

年度は1千万円を超え

要。